

道路の被害と復旧状況

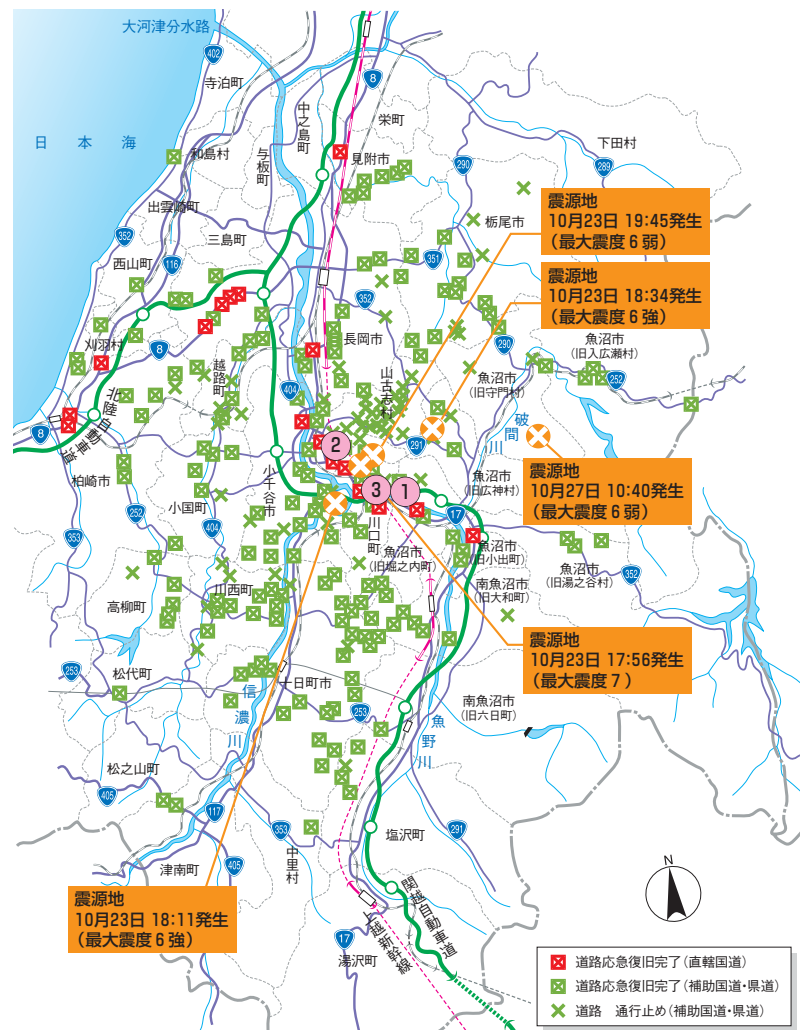
高速道路は関越自動車道を中心に全面通行止めとなるが、被災直後より緊急復旧を急ぎ、被災19時間後の10月24日13時には全線で緊急車両の通行を確保するとともに、11月5日には一部片側1車線により一般車両の通行を確保。11月26日には残っていた「長岡IC～小出IC間」の片側1車線規制を解除し全線の応急復旧を完了した。

今回の地震により直轄国道の17箇所をはじめ、県管理の国道・県道を含め、約240箇所が全面通行止めとなった。

直轄国道では被災直後の18時10分には、異常時(地震)の巡回を開始、19時には道路の被災状況の第一報を記者発表した。

24時間体制で復旧を行い、被災31時間後の10月25日1時までに概ね緊急復旧を完了し、緊急車両及び被災地域の車両の通行を確保するとともに、国土技術政策総合研究所及び独立行政法人土木研究所の専門家の技術支援のもと復旧工事を進め、順次、一般車両の通行規制を解除した。

唯一規制が残っていた「和南津トンネル」は、12月26日14時55分に片側交互通行を解除し、これにより全ての直轄国道で応急復旧を完了した。



通行規制状況 (H16.12.28現在)	被災直後全面通行止め箇所数	現在までの解除箇所数	現在全面通行止め箇所数
直轄国道			
国道8号	7	7	0
国道17号	9	9	0
国道116号	1	1	0
小計	17	17	0
補助国道	61	50	11
県道	163	117	46
合計	241	184	57



① 関越自動車道(堀之内IC～越後川口IC) 復旧後の状況 (日本道路公団提供)
11月5日 全線で一般車両の通行確保



② 国道17号川口町天納 復旧完了
12月29日に迂回路から本線に戻して復旧完了



③ 国道17号川口町和南津 トンネル損壊
和南津トンネルで覆工コンクリート剥離等の損傷が発生



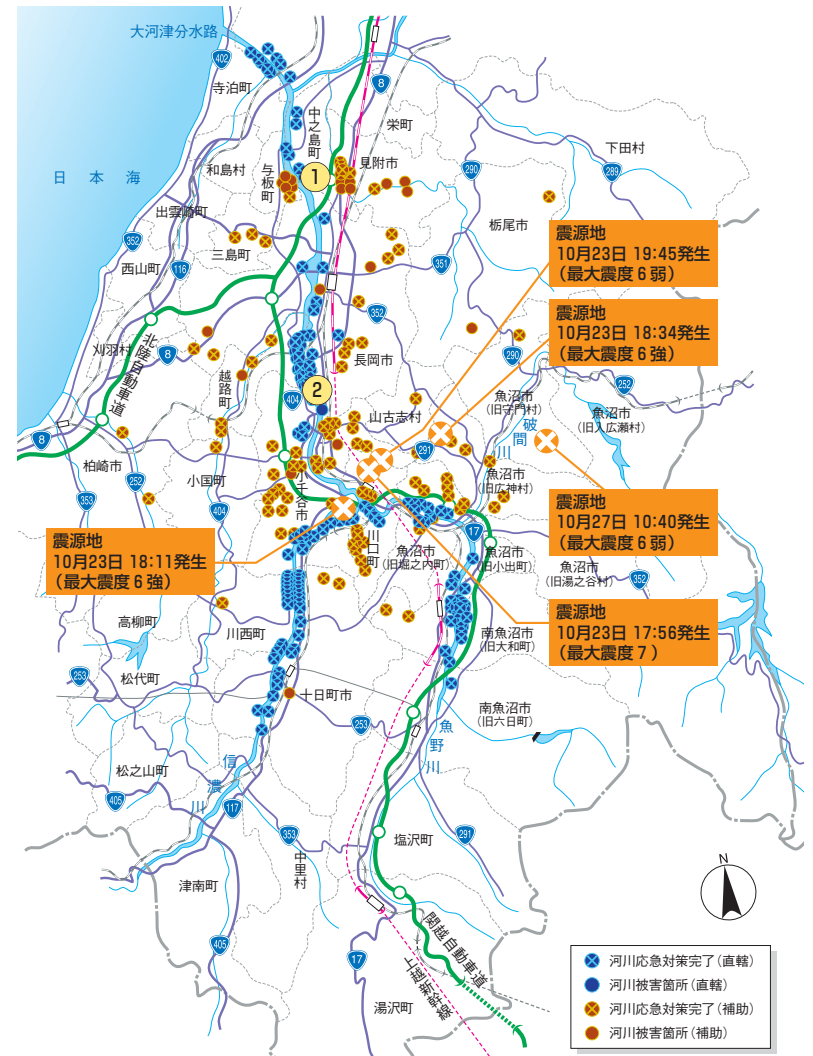
③ 国道17号川口町和南津 トンネル復旧
12月26日14時55分 片側交互通行を解除し、2車線で通行確保

河川の被害と復旧状況

信濃川本川右岸長岡市三俣野地先の堤防で裏法崩れが発生。また、長岡市妙見地先にある妙見堰においては堰柱に亀裂が発生。堤防亀裂、法面崩壊・沈下、堰・水門施設の損傷など直轄河川で185箇所、補助河川で425箇所の被害を確認。このうち応急対策が必要な直轄河川162箇所の内、12月28日までに161箇所、補助河川113箇所の内、92箇所について応急対策が完了し、残りの箇所は応急対策を実施中。

今後は、被害の大きかった箇所において、従前の治水機能を確保するための本復旧に着手する。

ダムに関しては、北陸地方整備局が管理している三国川ダム他2ダム、洪水調節を目的に含むダムで各県が管理している22ダムでは、地震発生直後にダム本体の点検を速やかに実施し、安全であることを確認した。



【直轄河川】(H16.12.28 9:00現在) ※応急対策が必要な箇所のみ表示

水系	河川	被害状況(箇所)				計	応急対策	
		亀裂	沈下	法面崩壊	水門等施設		必要箇所※1	不要箇所
信濃川	信濃川下流	1	0	0	0	1	1 (1)	0
	信濃川	101	18	1	6	126	107 (106)	19 ※2
	魚野川	45	6	2	5	58	54 (54)	4
合計(1水系3河川)		147	24	3	11	185	162 (161)	23

※1 ()書きは完了箇所数 ※2 今後本復旧を要する3箇所を含む

【補助河川】(H16.12.28 9:00現在)

河川被害	堤防・護岸の亀裂等	河川埋塞	合計	応急対策必要箇所※1	応急対策不要箇所
新潟県(5水系146河川)	278	147	425	113 (92)	312

※1 ()書きは完了箇所数



① 中之島町長呂堤防天端亀裂
信濃川右岸長呂地先の堤防天端で450mに渡り、大きな亀裂が発生



① 中之島町長呂緊急復旧完了
亀裂の発生箇所を掘削、盛土、シート張りによる緊急復旧を実施(11月3日 17時完了)



② 長岡市三俣野堤防裏法崩れ
信濃川右岸三俣野地先で150mに渡る裏法崩壊が発生



② 長岡市三俣野緊急復旧完了
降雨に備え、崩壊箇所を掘削、盛土、シート張りによる緊急復旧を実施(10月25日24時完了)